							が汉末り	フェギロ	7月111年46	カニッシ
科目名	情報リテラシー			英文名	Informat	tion lit	学科科目 番号	1101		
担当者	平石 明香			実務経験 の有無	有	選択 必修		科目 区分	専門科	目・講義
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間 (回数:		回)	単位数	2 単位
教材	-	_	rosoft Word 20			el 2021	-			
教具	Office 2	$021/\mathrm{Mi}$	icrosoft 365 対	応(FOM	出版)					
担当者 の実務 経験	D実務 ソフトウェア開発会社でSE、PG。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。									
【学修内	【学修内容】科目のねらい(目的)									

ビジネスシーンで必須のアプリケーションである Excel の操作や機能を演習と課題を通じて身に着け る。

【挖	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス (後 期)
1	Excel の概要		1	
2	JJ		2	
3	JJ		3	
4	データを入力し	よう	4	
5	JJ		5	
6	JJ		6	
7	表を作成しよう		7	
8	JJ		8	
9	JJ		9	
10	グラフを作成し	よう	10	
11	JJ		11	
12	JJ		12	
13	データを分析し	よう	13	
14	アプリ間でデー	タ連携をしよう	14	
15	期末課題		15	
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し		つる。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。
	到達目標	Excel の基本的な機能が使える。		
	成績評価の 期末考査、随時行う確認テスト、 方法と基準 以上の項目で評価点を 100 点法で			
	美時間以外に 必要な学修			てる。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点
	冬に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	うこと。

科目名	コンピュータ概論			英文名	Comput	er Intro		学科科目 番号	1102	
担当者	法華 秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修		科目区分	専門科目・講義		
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位
教材 教具	コンピュ	コンピュータ概論(ウイネット)								
担当者 の実務 経験	SEとし	E として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。								

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

コンピュータの構造や基礎理論、情報システムのマネジメントなどについて、基本情報処理技術者合 格レベルの知識を身につける学習内容である。

【授	受業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス (後 期)		
1	コンピューク	タの基礎知識	1			
2	"		2			
3	"		3			
4	"		4			
5	コンピューク	タの数値表現	5			
6	"		6			
7	"		7			
8	IJ		8			
9	"		9			
10	ハードウェブ	7	10			
11	"		11			
12	"		12			
13	"		13			
14	<i>∥</i>		14			
15	期末試験		15			
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主学 認する。不明点は SNS を活用し		ける。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。		
	到達目標	情報処理技術者 基本情報技術者 する。	試験	レベルの知識と技能を身につけることを目標と		
	成績評価の 対法と基準 対法と基準 対法の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。					
	授業時間以外に 必要な学修 必要な学修 コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索 を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点 は SNS で問い合わせる。					
	冬に当たって の留意点	コンピュータの仕組みをしっかり提出物は指定期日までに必ず提出		• /		

科目名	アルゴリズム			英文名	Algorith	m		学科科目 番号	1103	
担当者	平石 明香		実務経験 の有無	有	選択 必修		科目区分	専門科目・講義		
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位
教材 教具	情報処理	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造 (ウイネット)								
担当者 の実務 経験	ソフトワ	ソフトウェア開発会社でSE、PG。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。								

#### 【学修内容】科目のねらい(目的)

問題を解くための計算法であるアルゴリズムについて、それを理解する素質と、代表的なアルゴリズ ムについての知識を得る。また、アルゴリズムを利用して、具体的に問題解決を行うための力を、数値 ┃解析の遂行なども取り入れつつ、身につける。さらに、コンピュータの機能と、プログラミングに関す

	Tの逐17などの 見識を深める。	5以り八和シン、身につける。さら	った、コンピュータの機能と、ノログブミングに関す		
【挖	受業計画】	コマシラバス (前 期)	コマシラバス(後 期)		
1	イントロダクシ	ョン アルゴリズム入門	1		
2	流れ図の基準	はパターン	2		
3	疑似言語の基	基本パターン	3		
4	計算のアルコ	リズム	4		
5	<i>II</i>		5		
6	配列操作		6		
7	JJ		7		
8	探索のアルコ	iリズム	8		
9	<i>II</i>		9		
10	整列のアルコ	リズム	10		
11	<i>II</i>		11		
12	データ構造		12		
13	実践アルゴリ	ズム	13		
14	<i>II</i>		14		
15	期末試験		15		
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し	学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 て質問する。		
	到達目標	情報処理技術者 基本情報技術者 する。	行試験レベルの知識と技能を身につけることを目標と		
	戈績評価の 5法と基準	期末考査、随時行う確認テスト 以上の項目で評価点を 100 点法*	·		
授業時間以外に 必要な学修					
	多に当たって の留意点	代表的なアルゴリズムを論理的に 提出物は指定期日までに必ず提出	こ理解し、応用できるようにする。 出すること。		

科目名	ネットワーク基礎		英文名	Basic Network				学科科目 番号	1104
担当者	法華 秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修	12.48		専門科目・講義	
開講期	通年	前期: 時間(回数:	回)	後期:	時間 ()	可数:	回)	単位数	1 単位
教材 教具	システム開発技術(ウイネット)								
担当者 の実務 経験	SEとし	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

コンピュータネットワークの歴史、変遷からプロトコルの標準化、そして現在一般的に使われて いる TCP/IP を中心とした基本的な知識を学習する。

【授	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)
1	ネットワークカ	元式	1	
2	IJ		2	
3	3 OSI 基本参照モデル			
4	IJ		4	
5	TCP/IPプロ	トコル	5	
6	IJ		6	
7	IP アドレス		7	
8	IJ		8	
9	ネットワーク管	<b>管理</b>	9	
10	IJ		10	
11	TCP/IP アプ	リケーション	11	
12	IJ		12	
13	ネットワーク応	用技術	13	
14	IJ		14	
15	期末試験		15	
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し		る。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確問する。
	到達目標	情報処理技術者 基本情報技術者 する。	<b>計試験</b>	レベルの知識と技能を身につけることを目標と
	战績評価の 5法と基準	期末考査、随時行う確認テスト 以上の項目で評価点を 100 点法		
	美時間以外に 公要な学修	る。教科書での学習以外にインターネット検索 不正解になった問題については復習し、不明点		
	冬に当たって の留意点	特に TCP/IP についてしっかり気 提出物は指定期日までに必ず提出		- •

科目名	データベース基礎		英文名	Basic Database				学科科目 番号	1105	
担当者	法華 秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修		科目 区分	専門科目・講義		
開講期	通年	前期:	時間(回数:	回)	後期:	時間(	可数:	回)	単位数	1 単位
教材 教具	システム開発技術(ウイネット)									
担当者 の実務 経験	SEとし	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。								

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

データベースシステム、特にリレーショナルデータベース(RDB)システムに関する基礎的な知識とその応用システムについて習 得をする。さらに情報検索システムの動作原理についても学習をする。まずデータベースとは何か、なぜ必要かを理解し、RDB理

論の	基礎を学び、続い	って RDB の問合わせ等に用いられる ${ m SQL}$	. 言語に関する基礎的な知識と実習を通じて利用技能を身につける。
【授	受業計画】	コマシラバス (前 期)	コマシラバス(後 期)
1	データベース	のモデル化	1
2	IJ		2
3	データベース	設計	3
4	IJ		4
5	データの正規	化	5
6	IJ		6
7	SQL の基本		7
8	IJ		8
9	SQLの応用		9
10	IJ		10
11	データベース	の演算	11
12	データベース	管理システム	12
13	データベース	応用	13
14	IJ		14
15	期末試験		15
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し	学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 、て質問する。
	到達目標	情報処理技術者 基本情報技術者 する。	<b>皆試験レベルの知識と技能を身につけることを目標と</b>
	成績評価の 5法と基準	期末考査、随時行う確認テスト: 以上の項目で評価点を 100 点法	: 100% で算出し、60 点以上を認定する。
	美時間以外に 公要な学修		学習する。教科書での学習以外にインターネット検索 ストで不正解になった問題については復習し、不明点
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	をに当たって の留意点	特にリレーショナルデータベース 提出物は指定期日までに必ず提出	スおよび SQL についてしっかり学習すること。 出すること。

科目名	情報マネジメント		英文名	Informat	tion Ma	nt	学科科目 番号	1106	
担当者	法華 秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修		科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期: 時間(回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	1 単位
教材 教具	IT 戦略とデータ利活用(ウイネット)								
担当者 の実務 経験	SEとし	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

現代社会では情報システム無しには社会や組織の活動は立ち行かない。情報マネジメントでは、組織 で扱う情報とそれを取り扱うプロセスを理解し、情報の信頼性とパフォーマンス、さらに組織のインテ リジェンフを向上され知典の価値を言める活動を理解する

リシ	リジェンスを向上させ組織の価値を高める活動を理解する。								
【挖	受業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)					
1	企業と経営戦	路	1						
2	IJ		2						
3	IJ		3						
4	システム戦略		4						
5	IJ.		5						
6	IJ.		6						
7	ビジネスインタ	ダストリ(IoT)	7						
8	IJ		8						
9	IJ		9						
10	マネジメント		10						
11	IJ		11						
12	]]		12						
13	業務分析・デ	一夕利活用	13						
14	企業会計		14						
15	期末試験		15						
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主な 認する。不明点は SNS を活用し	• • • •	する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。					
	到達目標	情報処理技術者 基本情報技術者 する。	<b></b> 	<b>倹レベルの知識と技能を身につけることを目標と</b>					
	成績評価の 期末考査、随時行う確認テスト:100% 方法と基準 以上の項目で評価点を100点法で算出し、60点以上を認定する。								
	授業時間以外に 必要な学修 ・ と要な学修 ・ と要な学修 ・ と要な学修 ・ と使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明は SNS で問い合わせる。								
	多に当たって の留意点	企業活動を理解する。 提出物は指定期日までに必ず提出	出する	<b>3</b> こと。					

科目名	Office			英文名	Office				学科科目 番号	1107
担当者	平石 明	月香		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目区分	専門科	目・講義
開講期	通年	前期:	時間(回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位
教材	よくわた	いる Mic	rosoft Word 20	21 & Micr	cosoft Exce	el 2021	-			
教具	Office 2	021/Mi	icrosoft 365 対	応(FOM	出版)					
担当者 の実務 経験	ソフトウ	ウェア開き	発会社でSE、	PG。独立	エ後ソフト	ウェア	開発や We	eb サイ	トの作成、	講師など。

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

さまざまな課題の演習を通じて、ドキュメント作成の手順や Word の機能を学ぶ。

【挖	受業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)
1	Word の概要		1	
2	<i>II</i>		2	
3	JJ		3	
4	文書を作成しよ	Ď	4	
5	IJ		5	
6	IJ		6	
7	表現力のある文	書を作成しよう	7	
8	IJ		8	
9	IJ		9	
10	表のある文書を	作成しよう	10	
11	JJ		11	
12	<i>  </i>		12	
13	表に書式を設定する	5	13	
14	 		14	
15	期末課題		15	
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主管 認する。不明点は SNS を活用し		ける。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。
	到達目標	Word の基本機能を使って文書が	作成	できる。
	対績評価の	期末考査、随時行う確認テスト、 以上の項目で評価点を 100 点法		
	美時間以外に 公要な学修	コマシラバスに従って計画的に質	学習す	てる。不明点は SNS で問い合わせる。
	客に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	らこと。

										1
科目名	システム設計			英文名	System	Design		学科科目 番号	1108	
担当者	法華 秀幸			実務経験 の有無	有	有 選択 必修 区			専門科	目・講義
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間 (	回数:	回)	単位数	1 単位
教材 教具	コンピュ	コンピュータ概論(ウイネット)								
担当者 の実務 経験	SEとし	て主に下	流工程業務に行	送事し、ま	た IT 技術	<b></b>	師などσ	経験を	もとに指導	算する。

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

システム開発の基本的な手順・ツール・工程管理を学習する。基本情報処理検定等に出題される内容 が、実際の業務の中では、どのような作業として反映されるかを理解する。

【授	受業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)
1	システムの構	成要素	1	
2	IJ		2	
3	IJ		3	
4	"		4	
5	IJ		5	
6	ソフトウェア		6	
7	IJ		7	
8	IJ		8	
9	IJ		9	
10	マルチメディ	P	10	
11	IJ		11	
12	IJ		12	
13	AI(人工知能)		13	
14	IJ		14	
15	期末試験		15	
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し		ける。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。
	到達目標	情報処理技術者 基本情報技術者 する。	<b>計談</b>	シレベルの知識と技能を身につけることを目標と
	対績評価の 対法と基準	期末考査、随時行う確認テスト: 以上の項目で評価点を 100 点法 <sup>*</sup>		
,	美時間以外に 公要な学修			ける。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点
	をに当たって の留意点	システム開発をシミュレーション 提出物は指定期日までに必ず提出		

科目名	情報数等	学		英文名	Informat	ion M	cs	学科科目 番号	1109	
担当者	法華	秀幸		実務経験 の有無	有   八條			科目区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:45	時間(	(回数:	回)	単位数	1 単位
教材 教具	日本統訂	日本統計学会公式認定 統計検定4級対応 データの活用(日本統計学会)								
担当者 の実務 経験	SEとし	て主に下	流工程業務に行	送事し、ま	た IT 技術	研修請	≸師などσ	 )経験を	もとに指導	掌する。

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

統計を活用するために必要な考え方を習得する。

【授業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)				
1		1	統計の役割				
2		2	II .				
3		3	JI				
4		4	データのばらつきの表し方				
5		5	II				
6		6	II				
7		7	時系列データの基本的な見方				
8		8	n				
9		9	n				
10		10	確率の基礎				
11		11	II				
12		12	ll .				
13		13	標本調査――データの集め方				
14		14	"				
15	1	15	期末試験				
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主な 認する。不明点はSNSを活用し		する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。				
到達目標	統計の初級を理解し、活用してい	ヽくた	こめの考え方を身に着ける。				
成績評価の 方法と基準	期末考査、随時行う確認テスト: 100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修	コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	ること。				

科目名	情報セキュリティ			英文名	Informat	学科科目 番号	1110			
担当者	平石 明	月香		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目区分	専門科	目・講義
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	1 単位
教材 教具	システム	システム開発と情報技術(ウイネット)								
担当者 の実務 経験	ソフトワ	ウェア開タ	発会社でSE、	PG。独立	エ後ソフト	ウェア	開発や We	eb サイ	トの作成、	講師など。

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

情報システムに必要な情報セキュリティ対策や組織が定めた情報セキュリティ諸規程の目的・内容を 適切に理解し、情報及び情報システムを安全に活用するために、情報セキュリティが確保された状況を 実現し、維持・改善することができるようになる

美規	し、維持・改	女善することができるようになる。					
【授	業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後期)			
1			1	情報セキュリティ			
2			2	II			
3			3	システムへの攻撃手法			
4			4	II			
5			5	暗号化技術			
6			6	II .			
7			7	認証技術			
8			8	II			
9			9	セキュリティ技術			
10			10	II			
11			11	セキュリティリスク			
12			12	II			
13			13	セキュリティ管理			
14			14	II			
15			15	期末試験			
	受業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し		する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。			
3	<b>到達目標</b>	情報処理技術者 基本情報技術者 する。	試験	(アベルの知識と技能を身につけることを目標と			
	成績評価の 方法と基準 期末考査、随時行う確認テスト: 100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
, , .	時間以外に 要な学修	•		する。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点			
	に当たって の留意点	知識や技術だけでなく、身近な 提出物は指定期日までに必ず提出		いら身を守るために対策できるようになる。 ること。			

科目名	知的所有	有権		英文名	Intellec	tual pro	operty rig	ghts	学科科目 番号	1111
担当者	平石 り	月香		実務経験 の有無	有	有 選択 必修 科目 必修 必修 区分			専門科目・講義	
開講期	通年	前期:	時間(回数	: 回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	1 単位
教材 教具	ビジネス	ビジネス著作権検定® BASIC 初級 公式テキスト(ウイネット)								
担当者 の実務 経験	ソフトウ	ウェア開タ	発会社でSE	、PG。独立	な後ソフト	・ウェア	開発や We	eb サイ	トの作成、	講師など。

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

ビジネス実務、日常生活においてますます必要とされる著作権に関する知識および関連する知識につ いて、その基礎的な理解、具体的な裁判例・ビジネス実務における慣例を基準とする事例判断での応用 カをつける

力をつける。						
【授業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)			
1		1	著作権の概要			
2		2	著作物			
3		3	著作者			
4		4	著作者の権利			
5		5	保護期間			
6		6	著作権の譲渡と利用許諾			
7		7	著作権の制限			
8		8	著作隣接権			
9		9	著作権の侵害			
10		10	知的財産権制度			
11		11	情報社会と情報モラル			
12		12	確認問題			
13		13	JI			
14		14	II			
15		15	期末試験			
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主等 認する。不明点は SNS を活用し		ける。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。			
到達目標	ビジネス著作権検定初級の知識と	: 技能	<b>Eを身につけることを目標とする。</b>			
成績評価の 方法と基準						
授業時間以外に 必要な学修			ける。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点			
履修に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	らこと。			

科目名	資格対策			英文名	Intellect	tual pro	学科科目 番号	1112		
担当者	法華 秀幸			実務経験 の有無	有	選択 必修 必修		科目 区分	専門科	目・講義
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間 (	回数:	回)	単位数	2 単位
教材 教具	令和 07	令和 07 年 基本情報技術者 合格教本(技術評論社)								
担当者 の実務 経験	SEとし	E として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。								

【学修内容】科目のねらい(目的)

基本情報技術者試験合格に向けて学習する。

【挖	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)				
1			1	基礎理論				
2			2	コンピュータシステム				
3			3	技術要素				
4			4	開発技術				
5			5	プロジェクトマネジメント				
6			6	サービスマネジメント				
7			7	システム戦略				
8			8	経営戦略				
9			9	企業と法務				
10			10	過去問題答練				
11			11	II				
12			12	II				
13			13	II				
14			14	II				
15			15	期末試験				
	授業方法 業の進め方)	教科書やインターネット(DEK 試験に慣れる。不明点はSNSを		S-WEB 利用)で自主学習する。過去問題を解き、 して質問する。				
	到達目標	基本情報技術者試験を受験向けて	て知識	哉を身に着ける。				
	戈績評価の 方法と基準							
	に は SNS で問い合わせる。							
	多に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	3こと。				

科目名	クラウド概論			英文名	Cloud Ir	ntroduc		学科科目 番号	1113	
担当者	法華 秀幸			実務経験 の有無	有			科目区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間 (回数:回)		単位数	2 単位	
教材 教具	図解まる	るわかり	クラウドのしく	くみ(翔泳	社)					
担当者 の実務 経験	SEとし	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。								

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

クラウドシステムは情報通信技術の基盤として不可欠である。そのため、「クラウドがわかれば IT が わかる」といっても過言ではない。本授業では、クラウドの仕組みや技術、運用方法、トレンドなどを 学習する。

子自りる	, o							
【授業計	十画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)				
1			1	クラウドの基本~特徴・種類・システム構成~				
2			2	II .				
3			3	クラウドからシステムを考える時代に~クラウドはシステムの基盤~				
4			4	II .				
5			5	クラウドで何が変わる?~業務からコストまで~				
6			6	II .				
7			7	クラウドを構築する技術~こうしてクラウドは機能している~				
8			8	II .				
9			9	クラウドを動かす技術~こうしてクラウドは動いている~				
10			10	II .				
11			11	クラウドのセキュリティ~概要と対策~				
12				II .				
13			13	クラウドの導入~環境を整える~				
14			14	クラウドの導入に向けて~準備しておくこと~				
15			15	期末試験				
授業の		教科書やインターネットで自主な 認する。不明点は SNS を活用し		する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。				
到達	目標	クラウド全体の概要やクラウドの り、現場の実態や出来事など、最		メージ、クラウドに関わる技術と機器の役割を知 か向についても理解する。				
成績評 方法と		期末考査、随時行う確認テスト 以上の項目で評価点を 100 点法						
	と要な学修 と							
履修に当の留力		って、提出物は指定期日までに必ず提出すること						

科目名	Linux 基礎			英文名	Basic Li	nux		学科科目 番号	1114	
担当者	法華 秀幸			実務経験 の有無	有			科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位
教材 教具	Linux 教科書 LinuC レベル 1 Version 10.0 対応(翔泳社)									
担当者 の実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。									

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

Linux の基本的な使い方を学習し、Linux 技術者認定資格である「LinuC レベル 1 」の 101 試験レベ ルの知識と技術を身に着ける。

【授業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)
1		1	Linux のインストールと仮想マシン・コンテナの利用
2		2	II .
3		3	II .
4		4	II .
5		5	ファイル・ディレクトリの操作と管理
6		6	II .
7		7	II .
8		8	GNU と Unix のコマンド
9		9	n n
10		10	n n
11		11	リポジトリとパッケージ管理
12		12	n n
13		13	ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム
14		14	II .
15		15	期末試験
授業方法 (授業の進め)			する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。
到達目標	Linux 技術者認定資格「LinuC ることを目標とする。	レベバ	レ1」の 101 試験レベルの知識と技能を身につけ
成績評価の 方法と基準	期末考査、随時行う確認テスト 以上の項目で評価点を 100 点法		
授業時間以外 必要な学修	6C.		する。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点
履修に当たっ の留意点	て 提出物は指定期日までに必ず提	出する	

科目名	Python 基礎			英文名	Basic Py	thon		学科科目 番号	1201	
担当者	平石 明香			実務経験 の有無	有			科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位
教材 教具	Python【基礎編】ワークブック(カットシステム)									
担当者 の実務 経験	ソフトウェア開発会社でSE、PG。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。									

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

基本情報技術者試験に新たに追加された Python の基礎文法を解説と演習問題で効率良く学習する。

【授	受業計画】	コマシラバス(前 期)	コマシラバス(後 期)
1	Python とは(	スクーリング①)	1
2	変数		2
3	組み込み型(	(スクーリング②)	3
4	条件分岐		4
5	繰り返し		5
6	関数(スクーリ	リング③)	6
7	IJ		7
8	クラス(スクー	リング④)	8
9	IJ		9
10		スクーリング⑤)	10
11	入出力(スクー	ーリング⑥)	11
12	<i>II</i>		12
13	<i>II</i>		13
14			
15	演習問題(ス	クーリング(8)) -	15
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的する。不明点は SNS を活用して	学習する。スクーリングで実習を行い、理解度を確認 て質問する。
	到達目標	オブジェクト指向プログラミング 基本情報技術者試験合格レベルを	グを理解し、簡単なプログラムが書ける。 を目標とする。
	战績評価の 万法と基準	実習課題:70% 出席:30% 以上の項目で評価点を100点法	で算出し、60 点以上を認定する。
	美時間以外に 公要な学修		学習する。教科書での学習以外にインターネット検索 ストで不正解になった問題については復習し、不明点
	多に当たって の留意点		

科目名	HTML/CSS			英文名	HTML/0	CSS		学科科目 番号	1202	
担当者	平石 明香			実務経験 の有無	有	選択 必修		科目区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位
教材 教具	情報演習	情報演習 35 ステップ 30 HTML/CSS ワークブック第 2 版(カットシステム)								
担当者 の実務 経験	ソフトワ	ソフトウェア開発会社でSE、PG。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。								

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

HTML と CSS を基本から学び、美しいデザインの Web サイトが制作できるように学習する。

【授	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス (後 期)
1	HTML ファイルと	: Web サーバー(スクーリング①)	1	
2	JJ		2	
3	HTML 基礎(スク	ワーリング②)	3	
4	JJ		4	
5	CSS 基礎(スク	ーリング③)	5	
6	JJ		6	
7	フレックスボッ	クスを使った配置(スクーリング④)	7	
8	<i>II</i>		8	
9	グループ化とセ	ルの結合 (スクーリング⑤)	9	
10	<i>II</i>		10	
11	ページレイアウ	トの作成 (スクーリング⑥)	11	
12	2 インラインフレームの作成 (スクーリング⑦)			
13	演習問題(スク	ーリング⑧)	13	
14	JJ		14	
15	JJ		15	
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的出する。不明点は SNS を活用し		っる。またスクーリングで実習を行い、課題を提問する。
	到達目標	HTML と CSS を理解し、Web 〜	<b>ং</b> — ঽ	>が作成できる。
	成績評価の 方法と基準 以上の項目で評価点を 100 点法で			出し、60 点以上を認定する。
,	美時間以外に 必要な学修			てる。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点
	冬に当たって の留意点			

						75.132.421.4	. – 1 1–	Cuil Hillor IC	<i>/</i>
科目名	JavaSc	ript	英文名	JavaScri	pt	学科科目 番号	1203		
担当者	平石	月香	実務経験 の有無	有	有 選択 必修		科目 区分	専門科	目・実習
開講期	通年	前期: 時間(回数	: 回)	後期: 時間(回数: 回) 単位数					
教材 教具	- Li管部通過 36 ステップ 30 Love Segret リーガブッカー 首々即(カットバステム)								
担当者 の実務 経験	ソフトウェア開発会社でSE、PG。独立後ソフトウェア開発やWeb サイトの作成、講師など。								

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

JavaScript を利用するとどのようなことができるか理解し、Web ページに導入して動作させる。 JavaScript の基本文法を理解する。

【授業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス (後 期)				
1		1	JavaScript の記述ルール(スクーリング①)				
2		2	JI				
3		3	イベントハンドラ				
4		4	JI				
5		5	関数の基本				
6		6	JI				
7		7	オブジェクト、メソッド、プロパティ				
8		8	IJ.				
9		9	イベントリスナー				
10		10	js ファイルの分離とエラー対策				
11		11	演習問題(スクーリング②)				
12		12	II				
13		13	II				
14		14	II				
15		15	II				
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主学出する。不明点は SNS を活用し		ける。またスクーリングで実習を行い、課題を提 問する。				
到達目標	JavaScript とはどのようなものな	か理角	解する。				
成績評価の 方法と基準	実習課題:70% 出席:30% 以上の項目で評価点を100点法で	で算と	出し、60 点以上を認定する。				
授業時間以外に 必要な学修	- 「た使って知識を広げる」確認テストで不正解にかった問題については復選し、不明占。						
履修に当たって の留意点							

科目名	Java 基礎			英文名	Basic Java				学科科目 番号	1204
担当者	平石 明香			実務経験 の有無	有	選択 必修		科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期:	時間(回数	: 回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位
教材 教具	情報演習 8 ステップ 30 Java ワークブック(カットシステム)									
担当者 の実務 経験	ソフトウェア開発会社でSE、PG。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。									

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

オブジェクト指向プログラミングの基本的な考え方を習得する。Java の基本文法をもちいて簡単な Java プログラミングの作成ができる。

【授	業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス (後 期)
1			1	プログラムの作成 (スクーリング①)
2			2	II
3			3	数値と変数(基本データ型)(スクーリング②)
4			4	II
5			5	文字と文字列(スクーリング③)
6			6	II
7			7	配列 (スクーリング④)
8			8	II
9			9	制御文 (スクーリング⑤)
10			10	II
11			11	クラス (スクーリング⑥)
12			12	II
13			13	演習問題
14			14	II
15			15	11
	受業方法 業の進め方)	教科書やインターネットで自主等 出する。不明点は SNS を活用し		する。またスクーリングで実習を行い、課題を提 問する。
717	到達目標	オブジェクト指向プログラミンク	ゲを理	<b>里解し、簡単なプログラムが書ける。</b>
	え 注 注と基準	実習課題:70% 出席:30% 以上の項目で評価点を100点法	で算と	出し、60 点以上を認定する。
	美時間以外に 公要な学修	する。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点		
	ミに当たって の留意点			

科目名	Web ∼	ージ制作	英文名	Web Des	sign			学科科目 番号	1205	
担当者	平石	月香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目区分	専門科	目・実習	
開講期	通年	前期: 時間(回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位	
教材 教具	情報演習	図 35 ステップ 30 HTM	L/CSS ワー	-クブック	第2版	(カット	システ、	ム)		
担当者 の実務 経験	電気メー	気メーカー系ソフトウェア企業にてシステム企画・設計及びソフトウェア開発								

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

これまでに学習した HTML/CSS および JavaScript を使って、自分の Web ページを制作する。

【授業記	<b>計画</b> 】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)
1			1	Web ページテーマ決定
2			2	Web ページ設計 (スクーリング①)
3			3	n .
4			4	ıı
5			5	素材集め(スクーリング②)
6			6	Web ページ制作(スクーリング③)
7			7	ıı
8			8	ıı
9			9	』(スクーリング④)
10			10	ıı
11			11	n
12			12	』(スクーリング⑤)
13			13	n
14			14	"
15			15	作品発表 (スクーリング⑥)
授業 (授業の	方法 進め方)	教科書やインターネットで自主的出する。不明点は SNS を活用し		する。またスクーリングで実習を行い、課題を提 問する。
到達	目標	HTML と CSS を理解し、Web~	° <b>∽</b> §	ジが作成できる。
成績記 方法と	平価のと基準	実習課題:70% 出席:30% 以上の項目で評価点を100点法	で算と	出し、60 点以上を認定する。
授業時間 必要な	間以外に な学修		• • • •	する。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点
-	当たって  意点			

							※授業の	ひ 1 単位	Z時間は 45	分とする		
科目	1名 1	 ニジネス	ス数学 I	英文名	busin	ess mathe	ematics I		学科科目 番号	1301		
担当	当者 沒	去華・孝	秀幸	実務経験 の有無	有	選択必修	必修	科目 区分	専門科目	・講義		
開請	<b></b>	通年	前期: 時間(回数:	回)	後期:	: 時間 (	回数:	回)	単位数	1 単位		
教教	·	実践 ビ	ジネス数学検定3級(ト	日経 BP)								
担当の実経	実務 S	SE とし	て主に下流工程業務に行	送事し、ま	たIT	支術研修請	≸師などの	経験を	もとに指導	する。		
		容】科目	目のねらい(目的)									
Ŀ	ごジネス	スパーン	リンに必要な数学力・数	学技能を学	学習する	る。ビジネ	スで特に	必要と	される数理	里的な考え		
方	で 「担	B握力」「分析力」「選択力」「予測力」「表現力」の 5 つの力に分類し、さまざまなビジネスシ										
-			定した問題を通して学習していく。									
【授	受業計画	<b>画】</b>	コマシラバス (前 期) コマシラバス (後 期)									
1	把握力	h			1							
2	"				2							
3	分析ス	カ										
4	"				4							
5	選択フ	カ			5							
6	"				6							
7	予測オ	h			7							
8	"				8							
9	表現ス	カ			9							
10	"				10							
11	過去問	問題答練	東		11							
12	"				12							
13	"				13							
14	"				14							
15	期末記	式験			15							
	授業方 業の進	•	教科書やインターネッ認する。不明点は SNS				に確認テ	・ストを	実施し、理	関度を確		
	到達目	標	ビジネス数学検定3級合格程度の知識につけることを目標とする。									
	战績評値 テ法とヨ		期末考査、随時行う確 以上の項目で評価点を	. –			以上を認知	定する。				
	美時間以 必要な学		コマシラバスに従って を使って知識を広げる は SNS で問い合わせる	。確認テス								
履修	多に当た	きって	提出物は指定期日まで		出するこ	<u>-</u> と。						

の留意点

科目名	文章表明	見力 I		英文名	writing a	ability	I		学科科目 番号	1302
担当者	法華 タ	秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	1 単位
教材 教具	(教材力	なし)								
担当者 の実務 経験	SEとし	て主に下	流工程業務に行	従事し、ま	た IT 技術	f研修講	<b>排師などの</b>	経験を	もとに指導	掌する。

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

進路決定に向けて目標を定め、業界研究を行い、自身の考えを文章として表現する。

【授	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)							
1			1	目標設定							
2			2	II							
3			3	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #							
4			4	4 業界研究							
5			5	* *******							
6			6	II							
7			7	職業研究							
8			8	II							
9			9	II							
10			10	企業研究							
11			11	II							
12			12	12 "							
13			13	レポート作成							
14			14	11							
15			15	11							
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	書籍やインターネットで自主学習 自身の考えをレポートにまとめる		る。目標設定を行い、業界や職種について調査し、 「明点は SNS で問い合わせる。							
	到達目標	業界や職種についての理解を深る とめる。	め、近	進路決定の参考にする。またその内容を文章にま							
	対 積評価の 対法と基準	課題提出:100% 以上の項目で評価点を100点法	で算と	出し、60 点以上を認定する。							
	美時間以外に 公要な学修	コマシラバスに従って計画的にな 不明点は SNS で問い合わせる。	学習っ	する。説明会やセミナーに参加し理解を深める。							
	をに当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	5こと。							

科目名	ネットワ	フーク応月	月	英文名	Advance	ed Netw	vork		学科科目 番号	2101
担当者	法華	秀幸		実務経験 の有無	有	選択   必修   科目     必修   区分			専門科目・講義	
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間 (	回数:	回)	単位数	2 単位
教材 教具	令和 07	年 基本情	青報技術者 合格	各教本(技術	<b>衍評論社)</b>					
担当者 の実務 経験	SEとし	として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。								

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

OSI 参照モデルの理解や TCP/IP でどのようにデータのやりとりをしているか、ネットワーク通信上 のデータ構造はどのようになっているのか学習。

【挖	受業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)	
1	ネットワーク方	式と制御データ	1		
2	IJ.		2		
3	<i>II</i>		3		
4	ネットワークア	ーキテクチャ	4		
5	IJ.		5		
6	IJ.		6		
7	IJ		7		
8	通信プロトコル	,	8		
9	JJ		9		
10	JJ		10		
11	IPアドレスの名	と割と機能	11		
12	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		12		
13	ネットワーク管	理	13		
14	// // * * * * * * * * * * * * * * * * *		14		
15	期末試験		15		
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し		rる。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。	
	到達目標	情報処理技術者 基本情報技術者 する。	<b></b> 計	シベルの知識と技能を身につけることを目標と	
	战績評価の 5法と基準	期末考査、随時行う確認テスト、 以上の項目で評価点を 100 点法			
授業時間以外に 必要な学修 必要な学修 は SNS で問い合わせる。					
	冬に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	らこと。	

							\(\)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	7 I + I	Cb0110119 46		
科目名	データイ	ベース応見	Ħ	英文名	Advance	ed Data	ıbase		学科科目 番号	2102	
担当者	法華	秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義	
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間 (回数:回)			単位数	2 単位	
教材 教具	令和 07	年 基本	青報技術者 合材	各教本(技	術評論社	)					
担当者 の実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。										
【学修片	【学修内容】科目のねらい(目的)										

基本情報技術者試験のデータベース分野の内容を学びます。

リレーショナルデータベースの問合わせ等に用いられる SQL 言語の文法を学習し、データベース分野 の問題に観察することができるとも学習も進めていまます

O,	問題に解答す	けることができるよう学習を進めて	ていき	ます。			
【授	受業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス (後 期)			
1	データベース	ス方式	1				
2	<i>II</i>		2				
3	<i>II</i>		3				
4	<i>II</i>		4				
5	データベース	ス設計	5				
6	<i>II</i>		6				
7	IJ		7				
8	<i>II</i>		8				
9	データベース	スの操作	9				
10	<i>II</i>		10				
11	トランザクシ	/ョン処理	11				
12	<i>II</i>		12				
13	データベース	スの応用	13				
14	<i>II</i>		14				
15	期末試験		15				
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し		る。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。			
	到達目標	基本情報技術者試験レベルの知識	哉と技	能を身につけることを目標とする。			
成績評価の 方法と基準 対上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。							
	受業時間以外に 必要な学修 必要な学修 は SNS で問い合わせる。						
	冬に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する				

科目名	Linux 后	芯用		英文名	Advance	d Linu	X		学科科目 番号	2103
担当者	法華 タ	秀幸		実務経験 の有無	有			科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間	(回数:	回)	単位数	2 単位
教材 教具	Linux 教	科書 Lin	uC レベル 1 Ve	rsion 10.0 3	対応(翔泳社	<u>t</u> )				
担当者 の実務 経験	SEとし	として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。								

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

Linux の基本的な使い方を学習し、Linux 技術者認定資格である「LinuC レベル 1 」の 102 試験レベ ルの知識と技術を身に着ける。

【授	受業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)
1	シェルとシェノ	レスクリプト	1	
2	<i>II</i>		2	
3	<i>II</i>		3	
4	ネットワークの	基礎	4	
5	<i>II</i>		5	
6	<i>II</i>		6	
7	システム管理		7	
8	JJ		8	
9	JJ		9	
10	JJ		10	
11	必須システム	サービス	11	
12	JJ		12	
13	セキュリティ		13	
14	JJ		14	
15	期末試験		15	
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し		ける。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。
	到達目標	Linux 技術者認定資格「LinuC しることを目標とする。	ノベリ	∨1」の102試験レベルの知識と技能を身につけ
	対績評価の 可法と基準	期末考査、随時行う確認テスト 以上の項目で評価点を 100 点法	出し、60 点以上を認定する。	
, ,	美時間以外に 公要な学修	ける。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点		
	をに当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	らこと。

科目名	モバイバ	レプログラ	ラミング	英文名	Mobile P	rograr	nming		学科科目 番号	2104
担当者	平石 明	月香		実務経験 の有無	有	選択     必修     科目       必修     区分			専門科目・講義	
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位
教材 教具	HTML5	プロフェッ	・ショナル認定試験	験 レベル1	対策テキス	ト&問題	夏集 Ver2.5	対応版	(マイナビ出	出版)
担当者 の実務 経験	ソフトウ	ウェア開タ	発会社でSE、	PG。独立	エ後ソフト	ウェア	開発や We	eb サイ	トの作成、	講師など。

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

HTML/CSS を使ったウェブデザインの基礎知識を学び、認定資格である「HTML5 プロフェッショナ ル認定試験 レベル 1」レベルの知識を身につける学習内容である。

【授	受業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス (後 期)								
1	HTML5 の基礎	知識	1									
2	<i>II</i>		2									
3	<i>II</i>		3									
4	CSS の基礎知	口識	4									
5	<i>II</i>		5									
6	<i>II</i>		6									
7	レスポンシフ	ブ Web デザイン	7									
8	<i>II</i>		8									
9	<i>II</i>		9									
10	<i>II</i>		10									
11	API 概要		11									
12	<i>II</i>		12									
13	Web 関連の規	見格と技術	13									
14	<i>II</i>		14									
15	期末試験		15									
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主学 認する。不明点は SNS を活用し		ける。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。								
	到達目標	「HTML5 プロフェッショナル語 ことを目標とする。	忍定詞	は験 レベル 1」レベルの知識と技能を身につける								
	战績評価の ♂法と基準	期末考査、随時行う確認テスト: 以上の項目で評価点を 100 点法*										
	業時間以外に 必要な学修 コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索 を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点 は SNS で問い合わせる。											
	多に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	うこと。								

科目名	CMS			英文名	CMS				学科科目 番号	2105	
担当者	法華	秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目区分	専門科	目・講義	
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間 (	回数:	回)	単位数	2 単位	
教材 教具	(教科書	(教科書なし)									
担当者 の実務 経験	SEとし	て主に下	流工程業務に行	送事し、ま	た IT 技術	<b>所修講</b>	師などの	経験を	もとに指導	掌する。	

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

模擬問題を解きながら、PHP 技術者認定初級試験の知識を身に着ける。

【授業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)					
1		1	PHPの基本					
2		2	II					
3		3	演算子					
4		4	IJ					
5		5	制御文					
6		6	II					
7		7	組み込み関数					
8		8	II					
9		9	ユーザ定義関数					
10		10	II					
11		11	クラスライブラリ					
12		12	II					
13		13						
14		14	オブジェクト指向構文					
15		15	期末試験					
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し		ける。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。					
到達目標	PHP 技術者認定初級試験レベル	の知	識を身に着ける。					
成績評価の 方法と基準	期末考査、随時行う確認テスト: 以上の項目で評価点を 100 点法*							
授業時間以外に 必要な学修			ける。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点					
履修に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	3こと。					

科目名	人工知能	r F		英文名	Artificial	l Intell		学科科目 番号	2106			
担当者	法華	秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目区分	専門科目・講義			
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位		
教材 教具	(教科書	事なし)										
担当者 の実務 経験	SEとし	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。										

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

最新の AI 技術の動向や活用事例を自身で調査し、社会がどのように変化していき、どのような未来が 訪れるか、自分で考えまとめる。

F. L. a. alla and								
【授業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)					
1		1	AI技術の状況を調査					
2		2	П					
3		3	II					
4		4	II					
5		5	AIの活用事例の調査					
6		6	II.					
7		7	II					
8		8	II					
9		9	AI がもたらす社会的影響の調査					
10		10	II					
11		11	II					
12		12	調査結果をまとめる					
13		13	JI JI					
14		14	レポート作成					
15		15	II					
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し		ける。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。					
到達目標	AI によって変化していく社会に	つい	て自分の考えを論じることができる。					
成績評価の 方法と基準	課題提出:100% 以上の項目で評価点を 100 点法 <sup>~</sup>	で算と	出し、60 点以上を認定する。					
授業時間以外に 必要な学修			ける。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点					
履修に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	うこと。 					

科目名	仮想化技術			英文名	Virtualiz	zation '	学科科目 番号	2107		
担当者	法華 多	<b>秀幸</b>		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間 (	回数:	回)	単位数	2 単位
教材 教具	図解即哨	践力 仮想	化&コンテナが	にれ1冊で	しっかりわれ	かる教系	斗書(技術	評論社)		
担当者 の実務 経験	SEとし	て主に下	流工程業務に行	送事し、ま	た IT 技術	· 所修講	靠師などσ	経験を	もとに指導	算する。

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

仮想化の種類やメリット、デメリットを学び、仮想化の技術のひとつであるコンテナ技術を学習しま

【授業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)						
1	(114 /774)	1	仮想化の基礎知識						
		2	"						
3		3	   仮想化のしくみと技術						
4		4	II						
5		5	II .						
6		6	コンテナ技術の基礎知識						
7		7	II						
8		8	n						
9		9	コンテナ型仮想化ソフトウェア						
10		10	Л						
11		11	II						
12		12	コンテナオーケストレーション						
13		13	II .						
14		14							
15		15	期末試験						
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主等 認する。不明点は SNS を活用し		する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。						
到達目標	仮想化とはどのような仕組なのた	) 理角	<b>军する。</b>						
成績評価の 方法と基準	期末考査、随時行う確認テスト: 以上の項目で評価点を 100 点法*		·						
授業時間以外に 必要な学修			する。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点						
履修に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	3こと。						

							701320710	- 1 1-	T. 1111 2 16	/ <b>,</b> _ / _		
科目名	ビッグラ	データ		英文名	Big Data	a			学科科目 番号	2108		
担当者	法華	秀幸		実務経験 の有無	有	選択			専門科目・講義			
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位		
教材 教具	図解即単	図解即戦力 ビッグデータ分析のシステムと開発がこれ1冊でしっかりわかる教科書(技術評論社)										
担当者 の実務 経験	SEとし	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。										

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

ビッグデータを分析とはどういうことか学び、分析の仕組を学習します。またビッグデータの収集、 蓄積、活用の流れを学習します。

【授	<b>養計画</b> 】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス (後 期)						
1			1	ビッグデータ分析の全体像						
2			2	ビッグデータ分析システムのアーキテクチャ						
3			3	II						
4			4	分散処理の基礎						
5			5	II						
6			6							
7			7	機械学習の基礎						
8			8	JJ						
9			9							
10			10	ビッグデータの収集						
11			11	ビッグデータの蓄積						
12			12	ビッグデータの活用						
13			13	II						
14			14	メタデータ管理						
15			15	<b>5</b> 期末試験						
	授業方法 業の進め方)	教科書やインターネットで自主学 認する。不明点は SNS を活用し		ける。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。						
;	到達目標	ビッグデータの収集、蓄積、活用	月の流	れを理解する。						
	え 積評価の 京法と基準	期末考査、随時行う確認テスト: 以上の項目で評価点を 100 点法で								
, ,	授業時間以外に 必要な学修 必要な学修 以来に従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索 を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点 は SNS で問い合わせる。									
	をに当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	はする	うこと。						

科目名	機械学習	Z E		英文名	Machine	e Learn	学科科目 番号	2109				
担当者	法華 タ	秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義			
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位		
教材 教具	図解即戦	図解即戦力 機械学習&ディープラーニングのしくみと技術がこれ1冊でしっかりわかる教科書(技術評論社)										
担当者 の実務 経験	SEとし	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。										

## 【学修内容】科目のねらい(目的)

機械学習やディープラーニングはどのようなものか、アルゴリズムも含めて学習する。また機械学習 を取り入れたシステムを開発するために環境をどのように整えるか学ぶ。

【授美	業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後期)						
1			1	人工知能の基礎知識						
2			2	II						
3			3	機械学習の基礎知識						
4			4	ı u						
5			5	II .						
6			6	機械学習のプロセス						
7			7	II .						
8			8	II .						
9			9	機械学習のアルゴリズム						
10			10	II						
11			11	ディープラーニングの基礎知識						
12			12	II						
13			13							
14			14	ディープラーニングのアルゴリズム						
15			15	期末試験						
	受業方法 色の進め方)	教科書やインターネットで自主的 認する。不明点は SNS を活用し		する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 問する。						
到	達目標	機械学習の仕組を理解し、シスラ	テム関	<b>開発をするうえでの環境設定を理解する。</b>						
	績評価の 法と基準	期末考査、随時行う確認テスト 以上の項目で評価点を 100 点法		·						
	授業時間以外に 必要な学修 必要な学修 は SNS で問い合わせる。									
	に当たって )留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	5こと。						

科目名	Java 応用			英文名	Advance	ed Java		学科科目 番号	2201		
担当者	法華 タ	秀幸		実務経験 の有無	有	選択必修	必修	科目区分	専門科目・実習		
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間 ([	単位数	3 単位			
教材 教具	スッキリ	スッキリわかる Java 入門 第 4 版(インプレス)									
担当者 の実務 経験	SE とし	て主に下	流工程業務に行	従事し、ま	た IT 技術	<b></b> 析研修講	師などの	)経験を	もとに指導	拿する。	

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

オブジェクト指向プログラミングの考え方を理解し、Java プログラムを作成できる。

【授	受業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)
1	オブジェクト指	向をはじめよう(スクーリング①)	1	
2	インスタンスと	クラス	2	
3	II		3	
4	さまざまなクラ	ス機構	4	
5	II		5	
6	カプセル化(ス:	クーリング②))	6	
7	II		7	
8	継承		8	
9	II		9	
10	高度な継承(ス	クーリング③)	10	
11	<i>II</i>		11	
12	多態性		12	
13	例外		13	
14	演習問題		14	
15	II		15	
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主的出する。不明点は SNS を活用し		ける。またスクーリングで実習を行い、課題を提 問する。
	到達目標	オブジェクト指向の考え方を学習 きるようになる	習し、	オブジェクト指向を用いたプログラミングがで
	战績評価の 万法と基準	実習課題:70% 出席:30% 以上の項目で評価点を100点法	で算と	出し、60 点以上を認定する。
	美時間以外に 公要な学修			ける。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点
	多に当たって の留意点			

科目名	Python 応用			英文名	Advance	ed Pyth	学科科目 番号	2202				
担当者	法華 秀幸			実務経験 の有無	有	選択 必修	12.41%		専門科目・実習			
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	後期: 時間(回数: 回)				2 単位		
教材 教具	情報演習 34 ステップ 30 Python[応用編]ワークブック(カットシステム)											
担当者 の実務 経験	SEとし	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。										

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

Python で役に立つプログラムを作成したり、データを様々な形で利用したり操作する方法を習得す

【授	受業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)
1	乱数(スクーリン	グ①)	1	
2	データのグラフ	化	2	
3	JJ		3	
4	関数のグラフ		4	
5	<i>II</i>		5	
6	統計値を求める		6	
7	<i>II</i>		7	
8	データの読み	*書き(スクーリング②)	8	
9	IJ.		9	
10	データベースの	基礎	10	
11	<i>II</i>		11	
12	演習問題(スクー	リンク・③)	12	
13	<i>II</i>		13	
14	<i>II</i>		14	
15	JJ		15	
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主管出する。不明点は SNS を活用し		ける。またスクーリングで実習を行い、課題を提 問する。
	到達目標	Python でデータ操作を行うプロ	グラ	ムが作れるようになる。
	成績評価の 方法と基準 大法と基準 以上の項目で評価点を 100 点法で			出し、60 点以上を認定する。
	授業時間以外に			ける。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点
	冬に当たって の留意点			

							70(3)(2)(4	. – 1 1–	<u> </u>	· /• - / •	
科目名	サーバー構築			英文名	Server	Constru	学科科目 番号	2203			
担当者	法華	秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修	12.48			専門科目・実習	
開講期	通年	前期:	時間(回数:	回)	後期:	時間 (	回数:	回)	単位数	2 単位	
教材 教具	ゼロからはじめる Linux サーバー構築・運用ガイド動かしながら学ぶ Web サーバーの作り方(翔泳社)										
担当者 の実務 経験	食品製造会社でのシステム開発。後に IT スクールにて法人研修講師として IT 技術の指導。										
7 324 1.6m J	- #- T - 10 F	7 ~ 1. 3 .	/ H J.J.\								

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

Linux の基礎からセキュリティまで、Web サーバーを運用するために身に付けるべき知識を学習しま す。基本的なコマンドやネットワーク、実用的な Web サーバー構築演習として LAMP の技術を学びま

す。											
【授	受業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)							
1	Linux とは (ス	スクーリング①)	1								
2	基本的なコマン	F	2								
3	JJ		3								
4	ネットワーク	や設定の基礎	4								
5	JJ		5								
6	サーバーの構築について										
7	II .										
8	Web ページの	)アップロード (スクーリング②)	8								
9	JJ		9								
10	LAMP サーバ	ーについて	10								
11	JJ		11								
12	JJ		12								
13	セキュリティ	ィのポイン	13								
14	<i>II</i>		14								
15	IJ		15								
	授業方法 業の進め方 <b>)</b>	教科書やインターネットで自主等 出する。不明点は SNS を活用し		つる。またスクーリングで実習を行い、課題を提 問する。							
	到達目標	Web サーバーを運用するために	身にた	けけるべき知識の習得。							
	成績評価の 実習課題:70% 出席:30% 方法と基準 以上の項目で評価点を100点法で			日し、60 点以上を認定する。							
	1分美時間レスタトに、			る。教科書での学習以外にインターネット検索で不正解になった問題については復習し、不明点							
	冬に当たって の留意点										

科目名	PHP		英文名	PHP				学科科目 番号	2204			
担当者	法華	秀幸	実務経験 の有無	有	選択     必修     科目       必修     区分			専門科目・実習				
開講期	通年	前期: 時間(回数	(: 回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	2 単位			
教材 教具	いきなりはじめる PHP 改訂版―― 新・ワクワク・ドキドキの入門教室(リックテレコム)											
担当者 の実務 経験	SEとし	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。										

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

サーバーサイドのスクリプト言語である PHP の基礎文法を学習し、簡単なプログラミングの作成がで

【授業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス (後 期)						
1		1	PHP のはじめかた (スクーリング①)						
2		2	IJ						
3		3	Web サーバーについての理解						
4		4	ıı .						
5		5	HTML 基礎						
6		6	PHP の基礎						
7		7	変数						
8		8	制御文						
9		9	関数の基本(スクーリング②)						
10		10	II						
11		11	データベース基礎						
12		12	SQL 基礎						
13		13	Web アプリ開発基礎(スクーリング③)						
14		14	演習問題						
15		15	II						
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主的出する。不明点は SNS を活用し	• • • •	ける。またスクーリングで実習を行い、課題を提 問する。						
到達目標	PHP の基礎文法を学習し、簡単	なプ	ログラムを作成できる。						
成績評価の 方法と基準	実習課題:70% 出席:30% 以上の項目で評価点を100点法で	で算と	出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修			する。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点						
履修に当たって の留意点									

科目名	アプリケーション構築			英文名	Applicat	ion Bu	学科科目 番号	2205				
担当者	法華 秀幸			実務経験 の有無	有	選択 必修 必修		科目区分	専門科	目・実習		
開講期	通年	前期:	時間(回数	: 回)	後期:	時間 (	回数:	回)	単位数	2 単位		
教材 教具	気づけばプロ並み PHP 改訂版ゼロから作れる人になる!(リックテレコム)											
担当者 の実務 経験	SEとし	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。										

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

PHP を使ってショッピングサイトの構築を進める中で、システム開発に必要な力を身に付ける。

【授業計画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)					
1		1	ショッピングカート機能作成(スクーリング①)					
2		2	IJ					
3		3	II					
4		4	JJ					
5		5	注文機能作成					
6		6	II					
7		7	II					
8		8						
9		9	注文管理機能作成(スクーリング②)					
10		10	II					
11		11						
12		12	会員登録機能作成					
13		13 14	n					
15		14 $15$	- " ショッピングサイト完成					
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主管出する。不明点は SNS を活用し		ける。またスクーリングで実習を行い、課題を提 問する。					
到達目標	PHP を使ったショッピングサイ	トの	完成。					
成績評価の 方法と基準	実習課題:70% 出席:30% 以上の項目で評価点を100点法 <sup>~</sup>							
授業時間以外に 必要な学修	「一」「大使って知識な庁げる」確認テフトで不正解にわった問題についてけ復習し「不明占 <b>」</b>							
履修に当たって の留意点								

科目名	サーバーサイドプログラミング			英文名	Server S	Side Pro	学科科目 番号	2206				
担当者	法華 秀幸			実務経験 の有無	有	選択 必修	12.48		専門科目・実習			
開講期	通年 前期: 時間(回数: 回)				後期:	時間(回数: 回)			単位数	2 単位		
教材 教具	気づけばプロ並み PHP 改訂版ゼロから作れる人になる!(リックテレコム)											
担当者 の実務 経験	SEとし	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。										

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

PHP を使ってショッピングサイトの構築を進める中で、システム開発に必要な力を身に付ける。

【授業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)						
1		1	開発準備(スクーリング①)						
2		2	II						
3		3	データベースの作成						
4		4	II .						
5		5	管理画面作成						
6		6	II						
7		7	JI						
8		8	商品追加画面作成(スクーリング②)						
9		9	II						
10		10	商品検索機能作成						
11		11	ログイン機能作成(スクーリング③)						
12		12	II						
13		13	IJ						
14		14							
15		15	II						
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主的出する。不明点は SNS を活用し		ける。またスクーリングで実習を行い、課題を提 問する。						
到達目標	PHP を使った Web アプリケ-シ	ョンの	の開発手法を理解する。						
成績評価の 方法と基準	実習課題:70% 出席:30% 以上の項目で評価点を100点法	で算と	出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		• • • •	する。教科書での学習以外にインターネット検索 で不正解になった問題については復習し、不明点						
履修に当たって の留意点									

の留意点

# ※授業の1単位時間は45分とする

							<b>※</b> 授業ℓ	01単位	Z時間は 45	分とする	
科目	1名	ビジネン	ス数学Ⅱ	英文名	busin	ess mathe	ematics II	[	学科科目 番号	2301	
担当	当者	法華の表	秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目	目・講義	
開請	構期	通年	前期: 時間(回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	1 単位	
	教材										
の事	担当者 の実務 SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。 経験										
上 上 力	【学修内容】科目のねらい(目的) ビジネスパーソンに必要な数学力・数学技能を学習する。ビジネスで特に必要とされる数理的な考え 方を「把握力」「分析力」「選択力」「予測力」「表現力」の 5 つの力に分類し、さまざまなビジネスシ ーンを想定した問題を通して学習していく。										
【授	受業計	画】	コマシラバス(前 期)			コ	マシラバ	ス(後	期)		
1	把握	力			1						
2	"	_			2						
3	分析	力			3						
4	<i>))</i>				4						
5	選択	力			5						
6	<i>"</i> > 300 ± 1	<b>-</b> L-,			6						
7	予測:	))			7						
8	表現	<del>-</del>			8						
9 10	衣児	/)			9 10						
11		問題答約	审		11						
12					12						
13	"				13						
14	"				14						
15	期末	試験			15						
	授業力 業の進	が法 進め方)	教科書やインターネッ 認する。不明点は SNS				に確認テ	ントを	実施し、理	関解度を確	
	到達目標 ビジネス数学検定 2 級合格程度(					こつけるこ	とを目標	とする。	)		
	战績評√		期末考査、随時行う確 以上の項目で評価点を			以上を認知	定する。				
	授業時間以外に 必要な学修 コマシラバスに従って計画的に を使って知識を広げる。確認テ は SNS で問い合わせる。										
履修	多に当	たって		- 0							

科目名	文章表現力Ⅱ			英文名	Writing Ability II				学科科目 番号	2302
担当者	法華 秀幸			実務経験 の有無	有	選択 必修		科目 区分	専門科	目・講義
開講期	通年	前期:	時間 (回数:	回)	後期:	時間(	回数:	回)	単位数	1 単位
教材 教具	(教材なし)									
担当者 の実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。									

# 【学修内容】科目のねらい(目的)

採用試験の筆記で出題されることが多い小論文および作文試験の対策を行う。 テーマに基づいて文章を作成する。

【授業計画】	コマシラバス (前 期)	コマシラバス(後 期)						
1		1	1 テーマ①出題					
2		2	必要な情報調べる					
3			II .					
4			II					
5			自分の考えと情報をまとめる					
6			ll ll					
7			下書き					
8			清書					
9			テーマ②出題					
10			必要情報をまとめる					
11			IJ					
12			自分の考えと情報をまとめる					
13			IJ					
14			下書き					
15		15	清書					
授業方法 (授業の進め方)		科書やインターネットで自主学習する。単元毎にワークノートを提出し、理解度を 図する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標	採用試験で出題される小論文および作文試験の対策を行い就職につなげる。							
成績評価の 方法と基準	課題提出:100% 以上の項目で評価点を100点法で算出し、60点以上を認定する。							
授業時間以外に 必要な学修	コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。							
履修に当たって の留意点	提出物は指定期日までに必ず提出	出する	うこと。					